

アルゴリズムとデータ構造 B 1月9日報告

グループ番号：1

代表者：1W242065 岡村圭吾

1. メンバー

1W242023	伊藤悟
1W242030	井上大阿
1W242038	植木敬太郎
1W242065	岡村圭吾（代表者）
1W242339	保科智哉

2. 出欠報告

欠席者なし

3. 進捗報告

- 今後のスケジュール（ポスター制作、プログラム完成の期限など）の決定
- 役割分担
 - ポスター制作：5人（全員）
PowerPoint のリンクを共有し、全員が積極的に作成する
 - プログラム向上：ポスター制作終了次第取り掛かる
 - ライトニングトーク発表者：井上
要点の柱を基に PowerPoint を要約する

4. 議事録・今後の作業計画

- 中間計測結果について
 - 精度は1位タイの結果だから、あとは実行時間の短縮の方針
 - 精度が0でかつ、実行時間が4秒台のグループもあることから、まだまだ恒常の余地がある。
- これからプログラムのどこを変更するか
 - 変に新しいメソッドを用いると、精度が急激に低下したり、エラーで結果が正常に出力されない可能性があるため危ない。
 - 既存のプログラムで冗長な部分を探し、その簡略化を考え、実行時間の短縮を目指す。

- 現在の課題点
 - 精度が少し劣る
 - 実行時間が 8 秒台後半であり、最速のグループと比して 2 倍である。
 - ✧ 冗長なループや実行速度の遅い関数の使用が影響しているのではないか
- 今後の作業計画
 - 1 月 10 日 プログラム(prep_1.c, search_1.c) の 1 次完成
ポスター 1 次完成
 - 1 月 13 日 プログラムおよびポスター最終完成 20 時までに提出